

様式1 令和5年度 山梨県立日川高等学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	文武両道の実践を軸に心身を練磨し、高い知性と教養、たくましい身体と精神力、豊かな感性をあわせ持つ生徒を育成する。
-----------	--

山梨県立日川高等学校校長 橋田 浩

本年度の重点目標	1 生徒に文武両道を実践する意志を持たせ、基礎学力の定着と指導と評価の一体化に努めた授業の実践
	2 生徒一人ひとりの進路実現に向けたきめ細やかなキャリア教育の実践
	3 規律ある学校生活をとおして、自らを律し行動できる力、規範意識や高い倫理観の育成
	4 安全で信頼される学校づくりの推進

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価			年度末評価(令和6年2月9日現在)			
番号	評価項目	本年度の重点目標 具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果		
				達成度	成果と次年度への課題・改善策	
1	生徒に文武両道を実践する意志を持たせ、基礎学力の定着と指導と評価の一体化に努めた授業の実践	年次ごと家庭学習習慣の向上に努め、4時間学習・2時間練習を確立する。	授業アンケート実施 学習記録の電子化 下校時間の徹底	B	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の時間の確保に向けてHR担任、部活動顧問、家庭の協力・働きかけを実施し連携して指導に当たる必要がある。 ・生徒には学習目標を設定させ、その目標に向けたロードマップ(学習計画)を描かせる指導が必要となる。 ・さらなるICT活用とその工夫を実施し、生徒の主体的な学習活動や教員の事務作業の軽減を目指す。 	
		学習目標の明確化及び指導と評価の一体化に努め、ICTの積極的活用を行い、授業力の向上を図る。	BYOD、大型モニターの活用 職員研修の実施			
		授業改善につながる授業アンケートの見直しと実施を行う。	授業アンケートの見直しと実施			
2	生徒一人ひとりの進路実現に向けたきめ細やかなキャリア教育の実践	サタデーサブリ・きずなの活用及びキャリアパスポート等による振り返りから主体的に進路を選択する能力を育成する。	さまざまなキャリア・パスポート及びClassiの活用	A	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が将来とのつながりを見通しながら学校行事や特別活動等において主体的に学ぶ意欲を促進させるとともにキャリア形成の支えとして活用している。 ・様々な進路情報を有効に収集し、積極的に活用しようとする姿勢がある一方で、講演会等、進路行事において積極的に情報を入手する等、具体的な行動に繋がらない生徒もいる。 ・SSH課題研究に積極的に取り組み、自ら課題を発見し主体的に活動することによって、課題解決能力の育成につながっている。 	
		進路希望に応じた情報発信と意識の向上を図り、大学等との連携を通じたサポートを行う。	県内大学との連携事業 全校体制による進路指導の実施			
		SSH課題研究への取組を通して主体的に進路を選択する能力を育成する。	SSH課題研究の全校指導			
3	規律ある学校生活をとおして、自らを律し行動できる力、規範意識や高い倫理観の育成	学校行事や課外活動、部活動をとおして、主体性、協働意識を育み、道徳教育を推進する。	道徳教育指導計画の作成及び共通理解 家庭と連携した取組	A	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育指導計画に則して新入生オリエンテーションや強歩大会、部活動において、人としての在り方や生き方について考える機会となった。90%以上の生徒が肯定的な評価をしている。 ・豊かな心の育成や規範意識を高める教育に関しては保護者の約90%が肯定的な評価をしている。 ・小中学生との交流・連携を図ったSSH事業をはじめ各種ボランティアや地域行事への参加を通じて他者を思いやる心や社会貢献の意識が高まった。 	
		地域や関係団体と連携を図り、他者を思いやる心と社会貢献の精神を涵養する。	地域行事・ボランティア活動への参加 異校種間交流の推進			
		安全で信頼される学校づくりの推進	広報誌、SSH通信の発行 定期的なHP更新			
4	安全で信頼される学校づくりの推進	広報誌、ホームページ、学校ブログ等を活用して積極的な情報発信に努める。	広報誌、SSH通信の発行 定期的なHP更新	B	<ul style="list-style-type: none"> ・広報関係、特に学校教育活動等の情報を積極的に公開していく。学校行事だけでなく授業や部活動等、日々の活動を含め情報を発信し、保護者が参加しやすい方策を考え、促進していく。 ・SNSの利用等についてルール・マナーを徹底を図り、安全・安心な学校づくりを推進する。 ・自転車やバイクの運転マナーやモラル、SNSをはじめとする情報モラル等の課題について、生徒が主体的に考えられる教育を推進する。 	
		PTA活動の様々な機会を生かして学校との連携を推進する。	広報活動及びPTAとの連絡の徹底 強歩大会への協力			
		災害や事故に遭遇した際の危機対応能力や危機管理能力を育成する。	避難防災計画の可視化 安全管理体制の徹底 保護者への情報発信			

学校関係者評価	
実施日(令和6年2月16日)	
評価	意見・要望等
3	<ul style="list-style-type: none"> ・「文武両道の実践」を教育の特色とすることについては、生徒や特に教職員に負担はあると思うが、広く浸透しており、これからも根気強く継続することで、さらに他校との差別化ができると思う。近年は、学習だけでなく「人材育成」にも力を入れた取組がされていると思う。社会では学力だけの追求ではなく、人との関係性が非常に大切である。 ・アンケート結果については、様々な角度から多くの項目が挙げられており、ほぼ8割以上が良好な評価を得ていることは素晴らしい。良い部分を継続していけるように指導してもらいたい。評価の低い部分について、どのように対応したか、またはどのような予定か、対応してもらいたい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳やキャリア教育などは、直接受験科目とは関係ないが、必要とされる社会人となるために一番大切な部分でもある。これは、学校だけではなく家庭でも取り組まなければならない。学校と家庭が連携して、このような教育に取り組む必要がある。また、早い段階から将来の進路を意識させることは、生徒の希望する進路実現に確実につながる。同じように各家庭でも取り組む必要がある。漠然と勉強するように話すだけではなく、具体的な将来像がイメージできるように学校と家庭とが連携した進路教育ができると良いと思う。 ・進路指導や進路情報については、先生方の取組と生徒の受け止め方に若干の温度差があると感じられる。 ・SSHは日川高校の大きな魅力の一つになっている。目に見える成果もあり、質の高い指導がされていると思う。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・自制心や規範意識の希薄化、生活習慣の確立が不十分であることや問題行動、いじめやいじめによる子どもの自殺等、心の状況に課題がある。自分に自信がある子どもが少なく、学習や将来の生活に対して無気力であったり、不安を感じたりしている子どもが増えるとともに、友達や仲間とのことで悩む子どもが増えるなど人間関係の形成が困難かつ不得手になっている。高校でも、知識等を教授することにまらず、その段階に応じた道徳性を養い、人間としての成長を図る教育の充実を進めてもらいたい。 ・学校教育活動のすべての様々な場面で道徳教育に相当する働きかけを心掛けてもらいたい。 ・心のケアに関して、命の授業や「折れない心を作る授業」などにも取り組んでもらいたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する評価が高まっていることは非常に良い。 ・近年、大きな災害が発生しており、山梨県でも未曾有の雪害が記憶に新しいことから、災害を他人事として捉えずに、有事に備えて少しでも意識することは大切なことだと思う。大げさかもしれないが、災害は、時として生死を分けることもあるので、小さい時から継続して防災教育などを行う必要があると思う。(家庭でも被災する場所も、自宅にいる時は限らないので、生徒自身が意識を高めると同時に、様々な場所で被災した状況を想定して、有事に備える必要がある。防災への意識が向上するよう生徒への啓発指導をお願いしたい。 ・地震に備えて校舎等の耐震性確認と適切な避難経路、場所の再検証をして欲しい。 ・グラウンド人工芝化の広報について、PRをもっと積極的に行った方が良い。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。